

第2期明石市子ども・子育て支援事業計画策定にかかるニーズ調査結果

(1) 調査の目的

市内に在住する就学前児童及び小学1年生から4年生の保護者に対してアンケートを行うことにより、保育・教育のサービス内容や量、子ども・子育てに対する現状や今後の意向等を把握し、「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定するうえでの基礎資料とします。

(2) 調査対象

- ① 就学前児童の保護者
- ② 小学1年生から4年生（明石養護学校を含む）、特別支援学級の各1クラスの保護者

(3) 調査期間

- ① 就学前児童調査：平成31年(2019年)1月30日～2月15日
- ② 小学1年生から4年生調査：平成31年(2019年)2月1日～2月14日

(4) 調査方法

- ① 就学前児童調査：郵送による配付及び回収
- ② 小学1年生から4年生等調査：学校を通じて配付及び回収

(5) 回収結果

| | 配付数 | 有効回答数 | 有効回答率 |
|------------|--------|--------|-------|
| 就学前児童 | 3,080人 | 1,622人 | 52.7% |
| 小学1年生から4年生 | 3,162人 | 2,768人 | 87.5% |

(6) 調査結果の表示方法

- ・グラフに表示されているN値は有効回答数です。
- ・回答は各質問のN値を基数とした百分率(%)で表示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

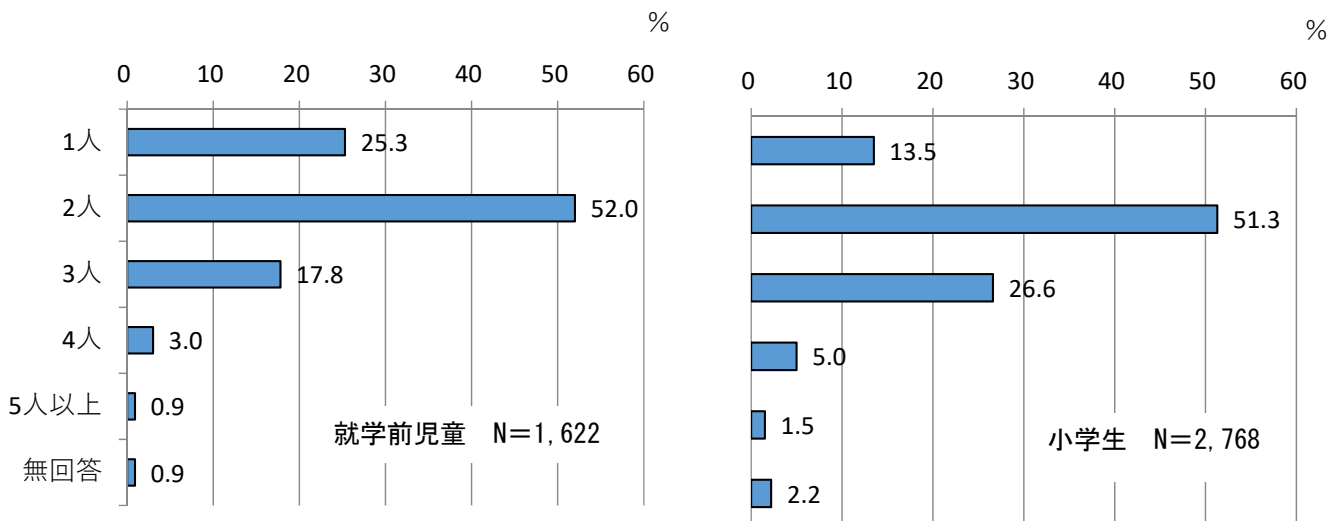
(7) 調査結果

① 回答世帯における子どもの人数（単数回答）

就学前児童では「2人」が52.0%と最も高く、次いで「1人」が25.3%、「3人」が17.8%、「1人」が25.3%となっています。一方、小学生では「2人」が51.3%と最も高く、次いで「3人」が26.6%、「1人」が13.5%となっています。

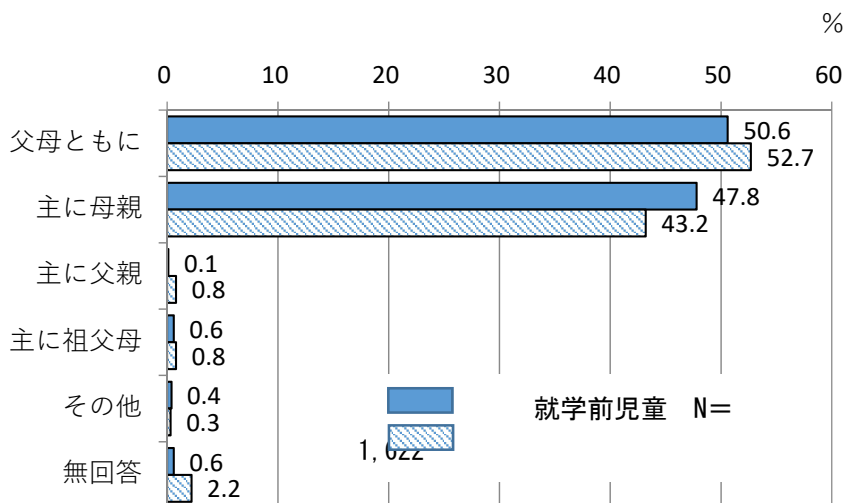
【就学前児童】

【小学生】



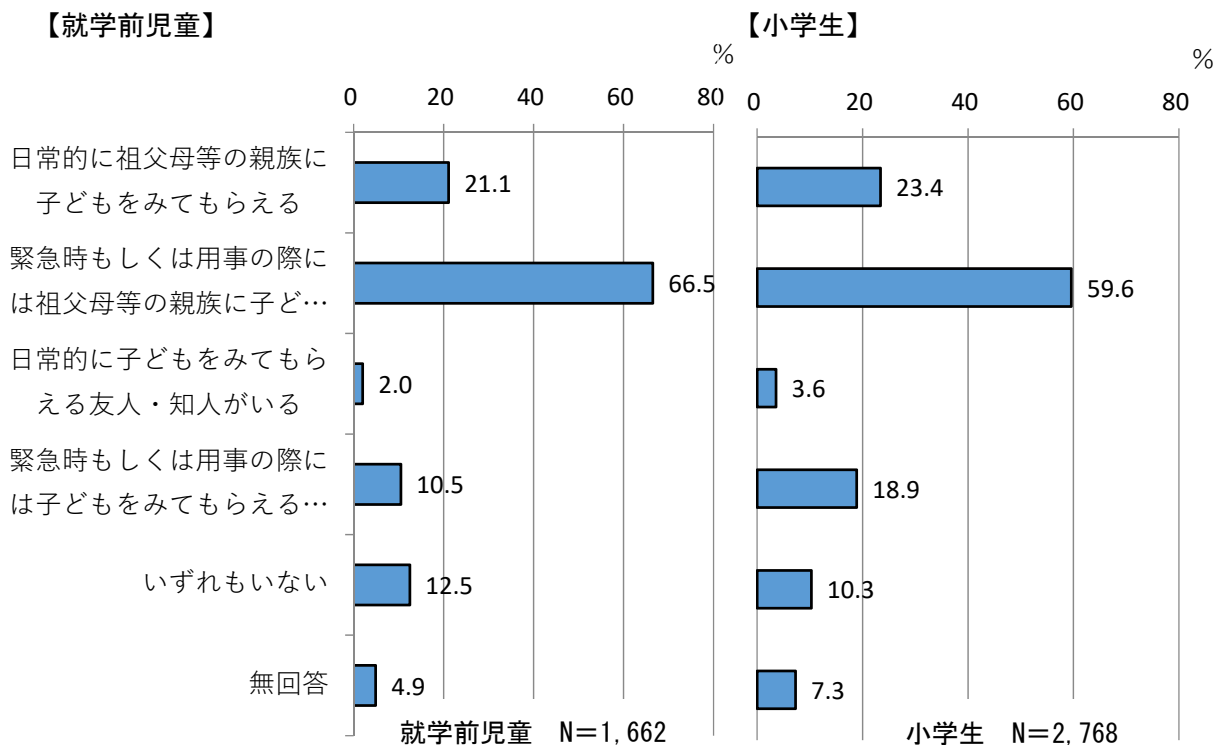
② 子育てを主に行っている方（単数回答）

「父母ともに」が就学前児童で50.6%、小学生で52.7%と最も高く、次いで「主に母親」が就学前児童で47.8%、小学生で43.2%となっています。



③ 日ごろ、子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）

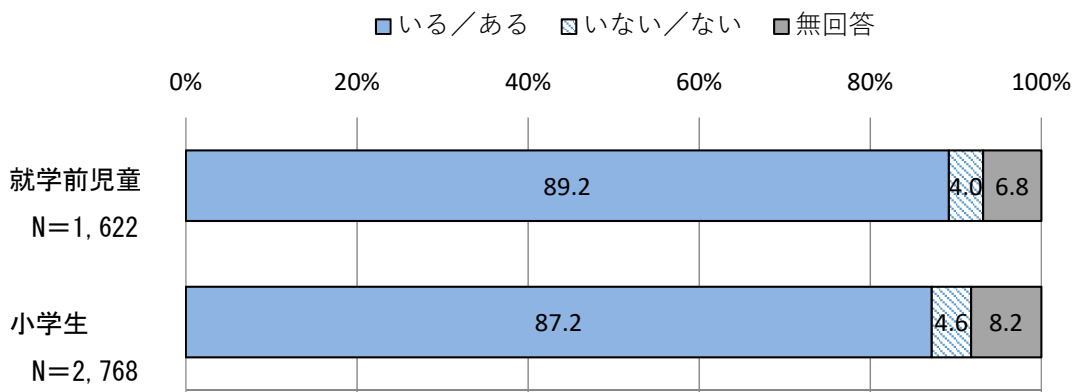
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に子どもをみてもらえる」が就学前児童で66.5%、小学生では59.6%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族に子どもをみてもらえる」が就学前児童で21.1%、小学生で23.4%となっています。



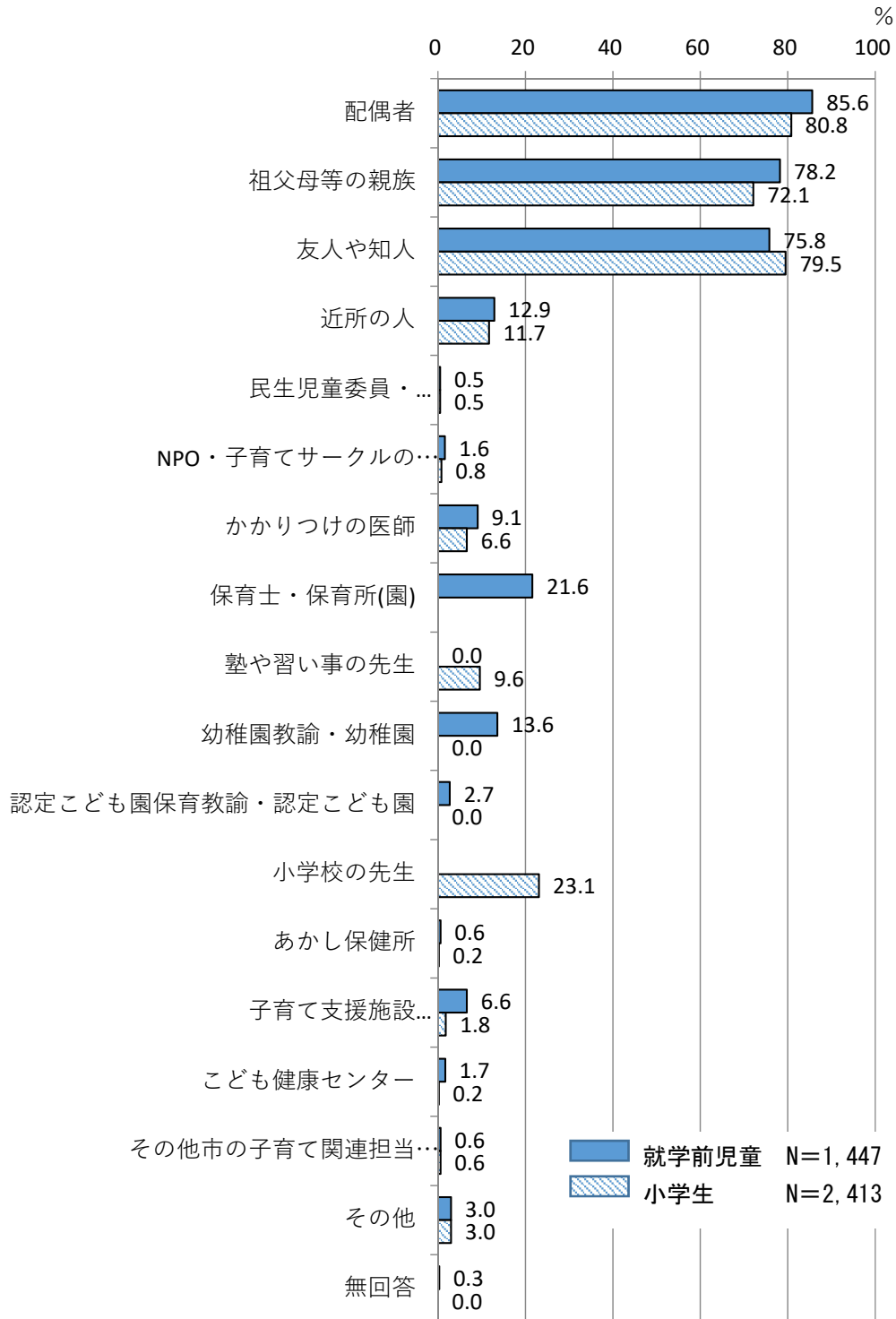
④ 子育てをするうえでの相談相手や相談できる場所の有無（単数回答）

「いる/ある」が、就学前児童で89.2%、小学生では87.2%となっています。

相談相手（場所）をみると、就学前児童は「配偶者」が85.6%、小学生は「配偶者」が80.8%と最も高くなっています。



【子育てをするうえでの相談相手】〈複数回答〉

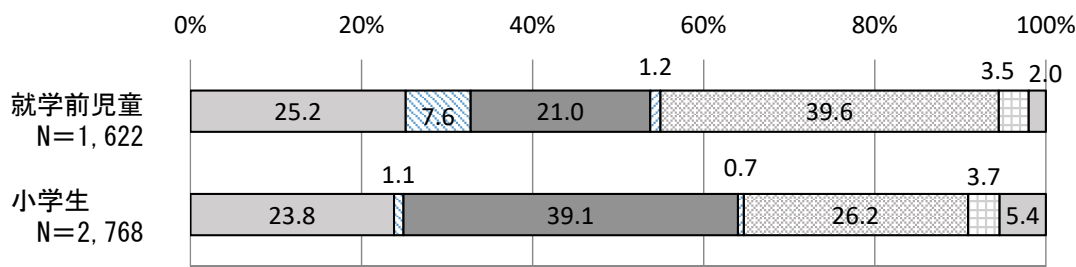


⑤ 母親の就労状況（単数回答）

就学前児童の母親では、フルタイム、パート、休業中を問わず「就労している」割合は、55.0%で、未就労の割合は 43.1%となっています。5 年前の調査で「就労」対「未就労」は 40.7%対 56.3%であったことから、5 年間で割合が逆転しています。また、フルタイムで就労中の方の割合がもっとも増加（7.1%増）しています。

小学生の母親も、「就労している」割合が 64.7%で、5 年前より 8.2%増加しています。

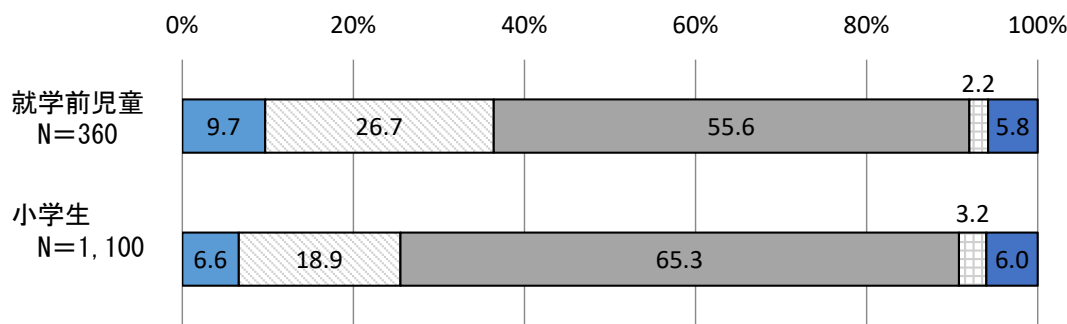
- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



⑥ パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望（単数回答）

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が就学前児童の母親で 55.6%、小学生の母親で 65.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が就学前児童の母親で 26.7%、小学生の母親で 18.9%となっています。就学前児童の母親で「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は 9.7%で、5 年前より 3.8%増加しました。

- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨ フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



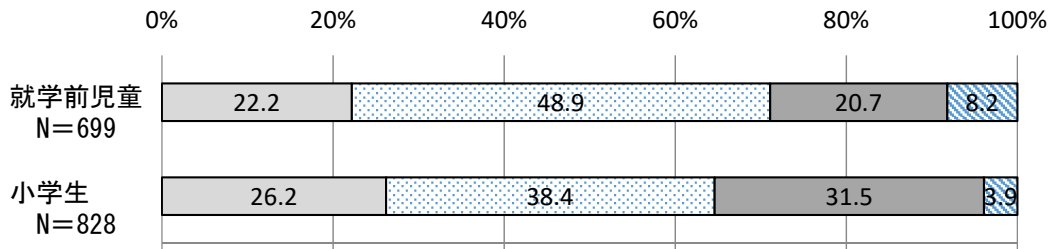
⑦ 現在就労していない母親の就労希望（単数回答）

「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になったところに就労したい」は、小学生の母親に比べ就学前児童の母親で割合が高く、「すぐにでも、もしくは一年以内に就労したい」では、就学前児童の母親に比べ小学生の母親で割合が高くなっています。

また、これらの希望のある方は、就労に対する潜在的なニーズがある保護者であることがうかがえます。

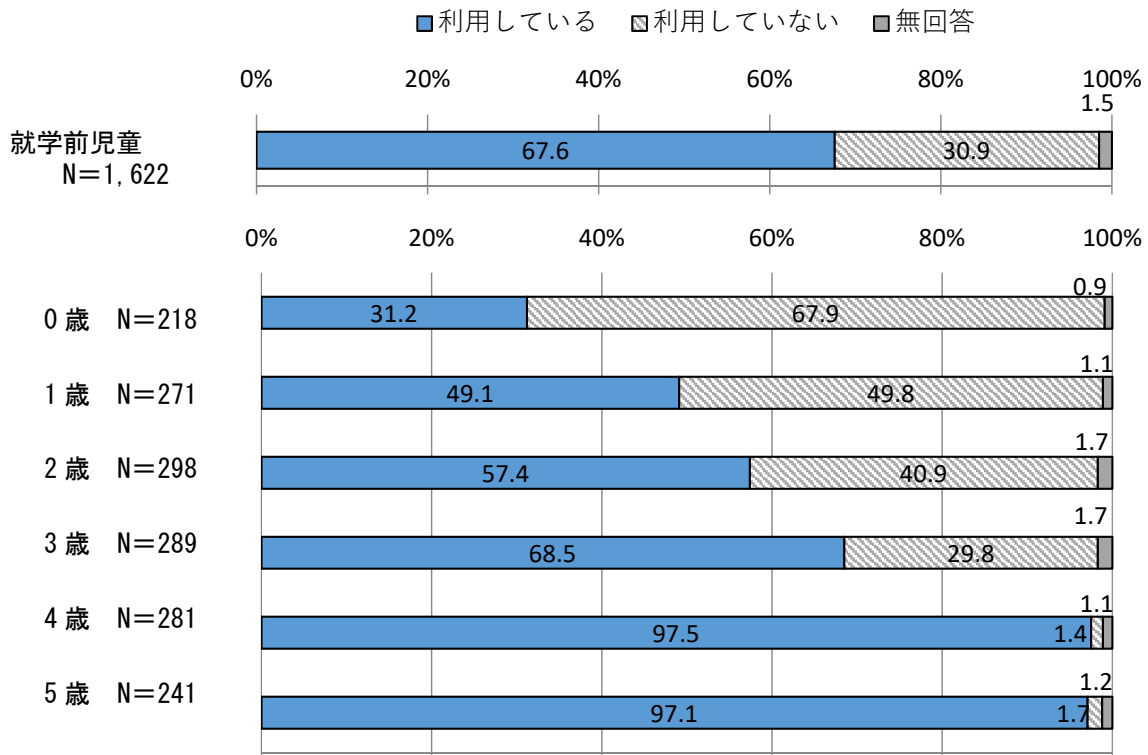
なお、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合は5年前と比べ、ほぼ変動していません。

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- ▨ 1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは一年以内に就労したい
- ▩ 無回答



⑧ 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無（単数回答）

就学前児童の定期的な教育・保育事業の利用は全体では67.6%で、5年前より6.9%増加しています。年齢別では0歳で5.2%増、1歳で15.6%増、2歳で16.7%増、3歳で8.1%増となっています。



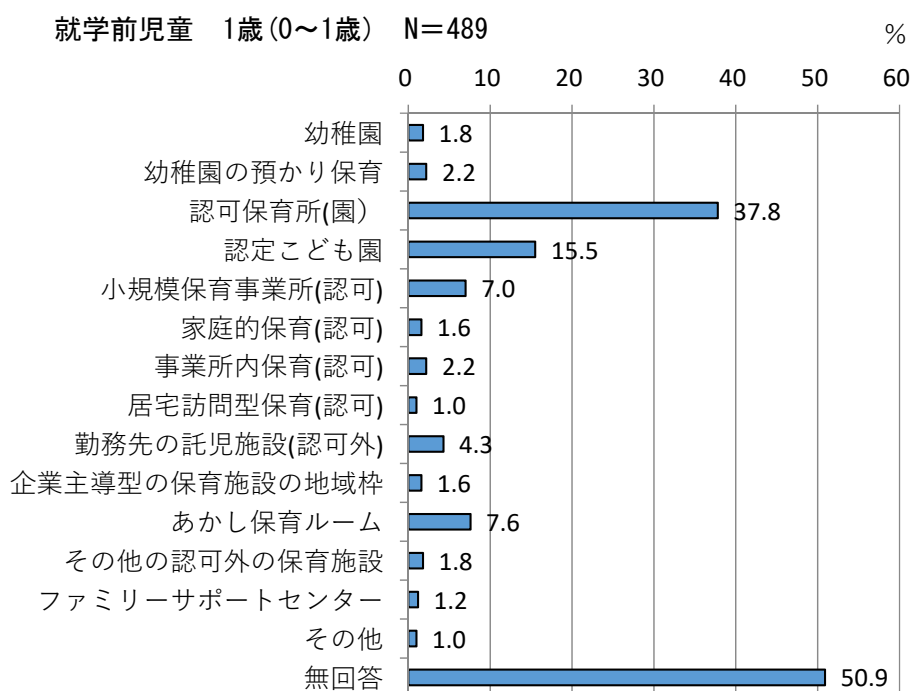
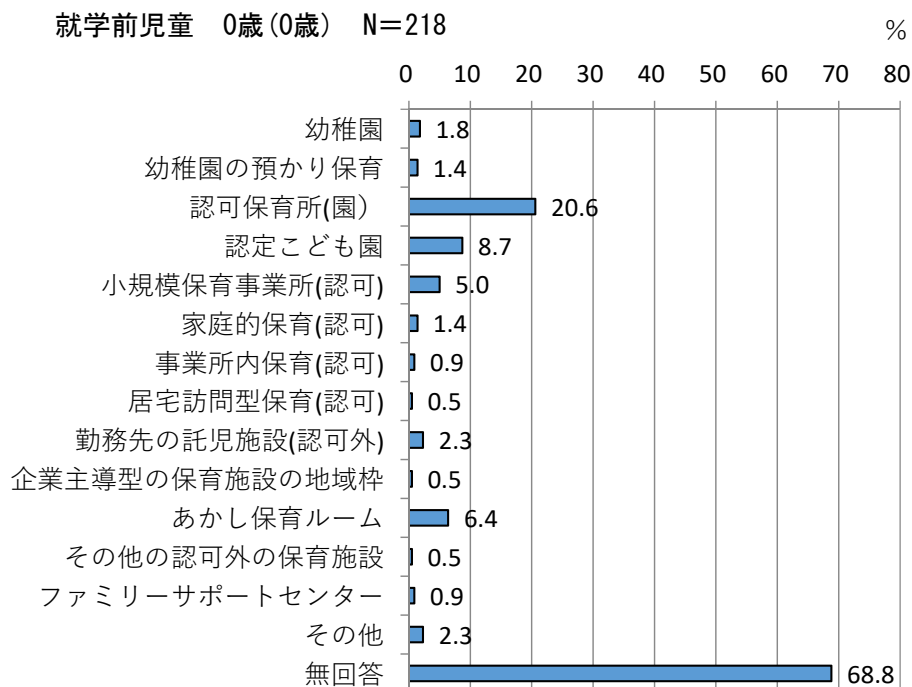
「利用している」と答えた母親を就労状況別でみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」で70%以上の方が認可保育所（園）を利用し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」で60%以上の方が幼稚園を利用しています。

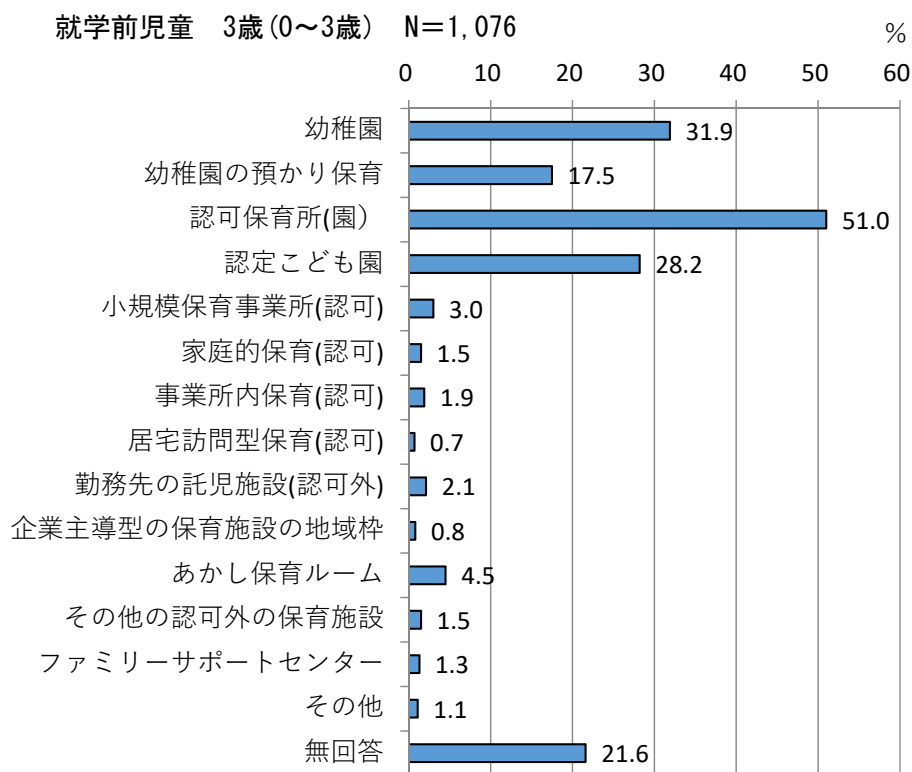
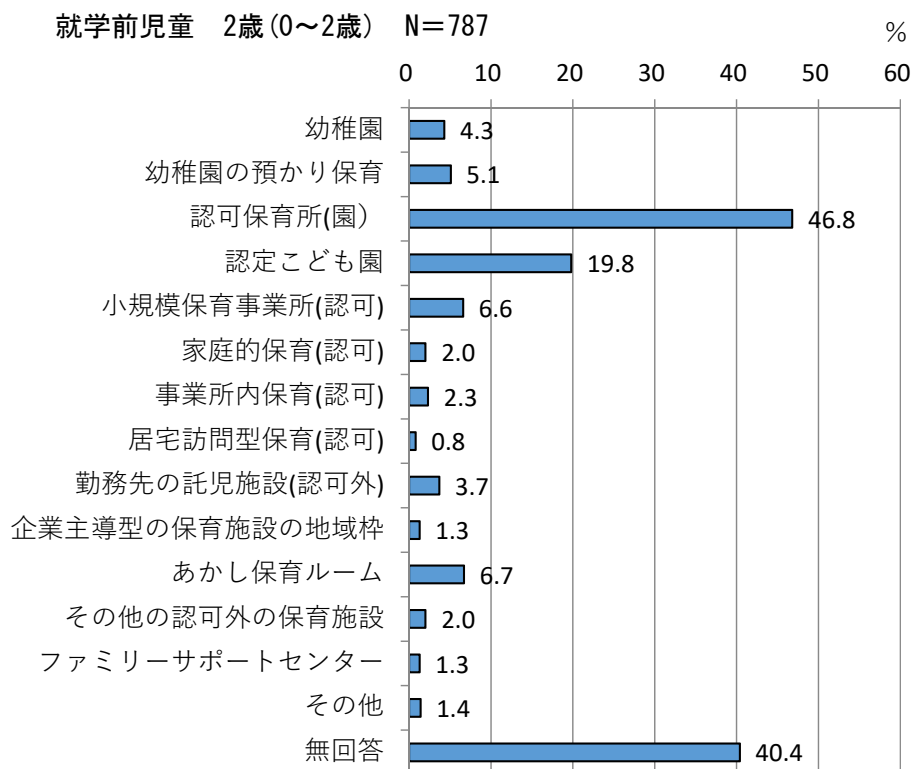
利用施設は5年前と比べ、認定こども園や小規模保育事業所、企業主導型保育施設等様々な事業が利用されています。

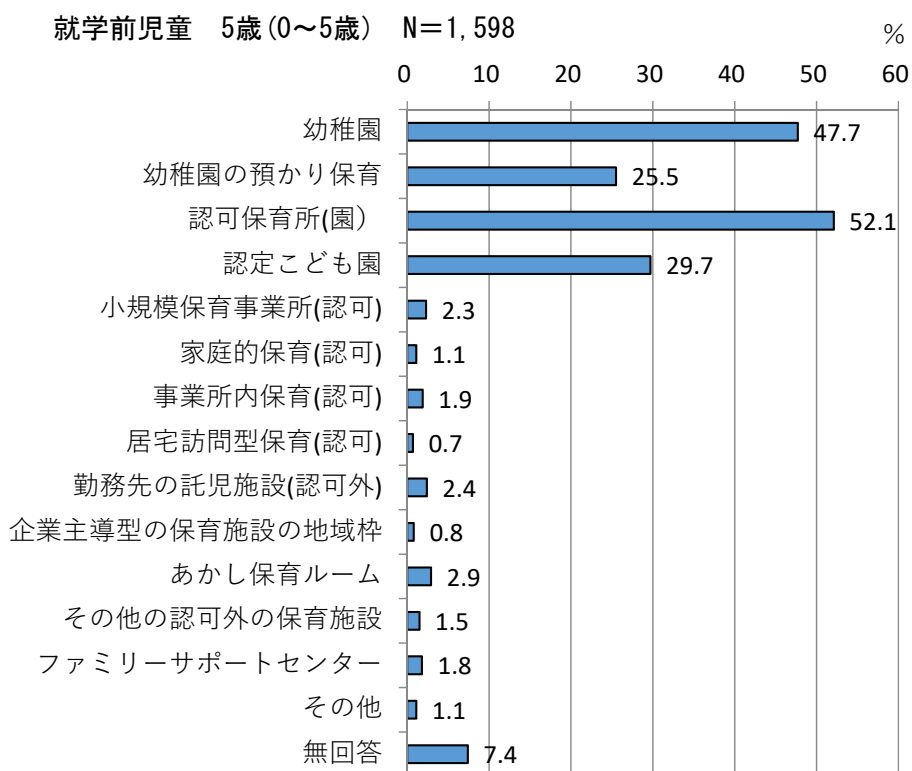
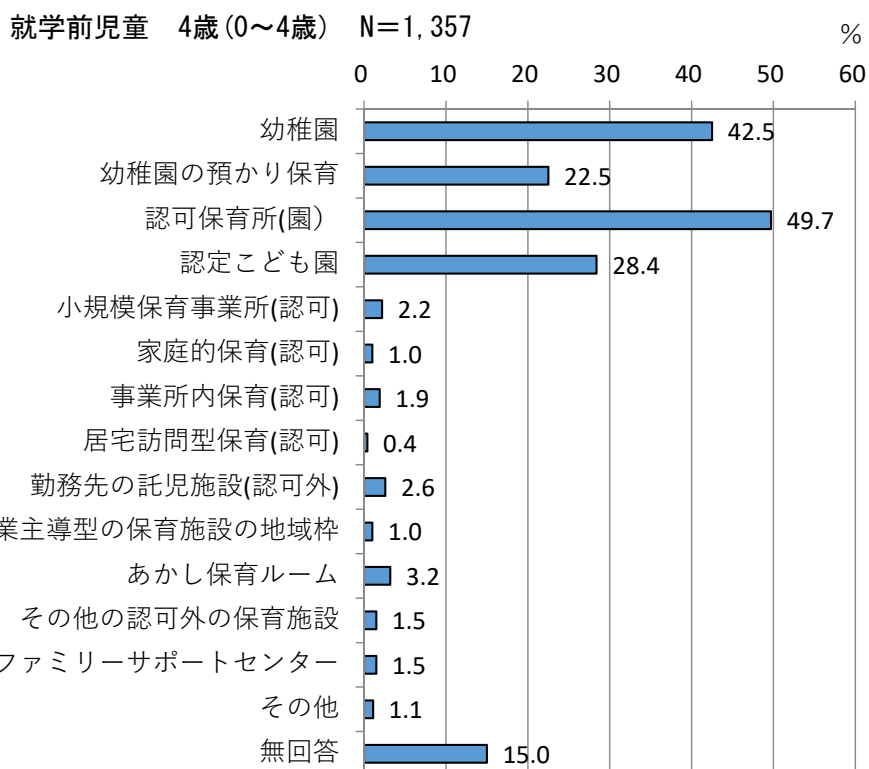
(単位：%)

| | 有効回答数 (件) | 幼稚園 | 幼稚園の預かり保育 | 認可保育所 (園) | 認定こども園 | 小規模保育事業所 (認可) | 家庭的保育 (認可) | 事業所内保育 (認可) | 居宅訪問型保育 (認可) | 勤務先の託児施設 (認可外) | 企業主導型保育施設の 地域枠 | あかし保育ルーム | その他の認可外の保育施設 | ファミリーサポートセンター | その他 | 無回答 |
|-----------------------------------|--------------|------|-----------|--------------|--------|------------------|---------------|----------------|-----------------|-------------------|-------------------|----------|--------------|---------------|------|-----|
| フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | 396 | 2.8 | 0.8 | 74.5 | 9.8 | 3.0 | — | 0.3 | — | 4.8 | 0.5 | 0.8 | 4.3 | 0.3 | 1.0 | — |
| フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である | 68 | 4.4 | 1.5 | 72.1 | 11.8 | — | — | — | — | 2.9 | 1.5 | 1.5 | 7.4 | — | 1.5 | — |
| パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | 285 | 17.9 | 7.4 | 58.6 | 9.5 | 1.4 | — | 0.4 | — | 3.2 | 1.4 | 0.7 | 7.0 | 0.4 | 2.1 | 0.4 |
| パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | 13 | 7.7 | — | 76.9 | — | — | — | 7.7 | — | — | — | — | — | — | 7.7 | — |
| 以前は就労していたが、現在は就労していない | 282 | 68.8 | 5.0 | 5.0 | 7.1 | 1.4 | 0.4 | 0.4 | — | — | 0.4 | 0.4 | 6.4 | — | 10.6 | 1.1 |
| これまで就労したことがない | 30 | 63.3 | — | 3.3 | 16.7 | — | — | — | — | — | — | 3.3 | 3.3 | — | 10.0 | — |

- ⑨ 今後、平日の教育・保育事業として定期的にご利用したいと考える事業（複数回答）
 年齢が上がるにつれて、「幼稚園」と「幼稚園の預かり保育」の利用希望が増加しますが、
 どの年齢においても、認可保育所（園）の利用希望が最も多くなっています。





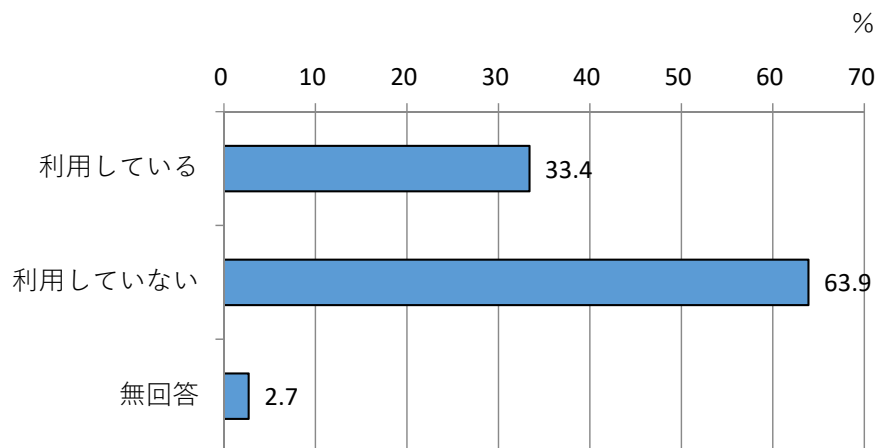


⑩ 現在の子育て支援拠点事業の利用状況（複数回答）

現在市内6か所にある、「子育て支援センター」については、「利用している」が33.4%となっています。

【就学前児童】

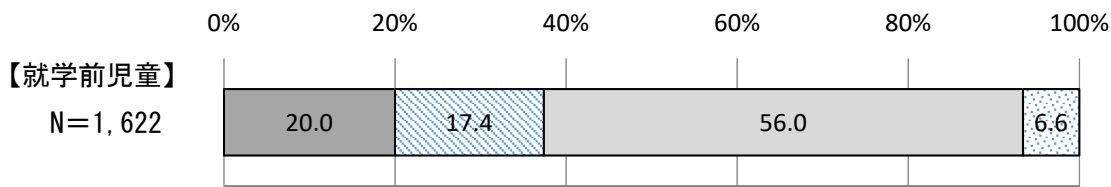
N=1,622



⑪ 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向（単数回答）

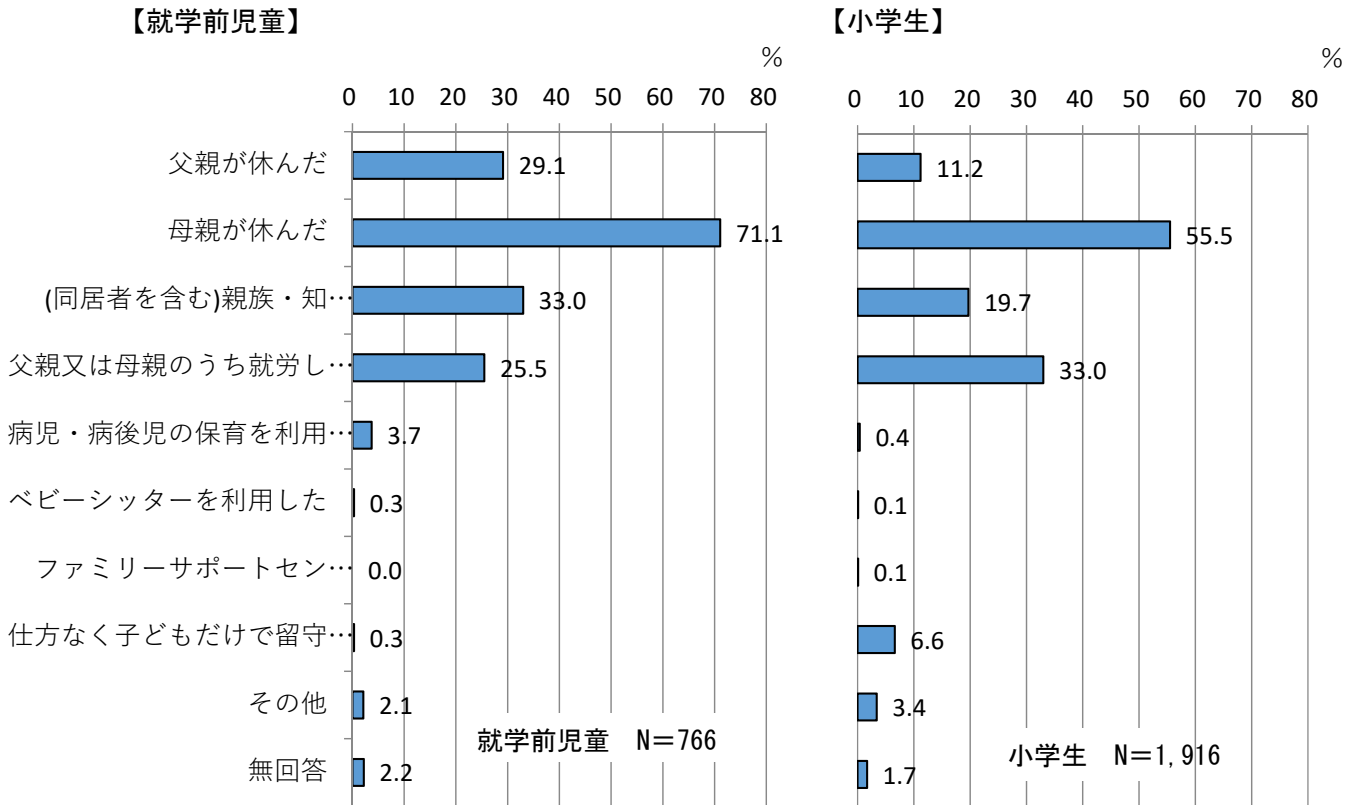
「利用していないが、今後利用したい」が20.0%（7.7%減）、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が17.4%（5.5%増）となっており、それらを合わせた、地域子育て支援拠点事業を利用したい人は全体の37.4%（2.2%減）となっています。

- 利用していないが、今後利用したい
- ▨ すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
- 無回答



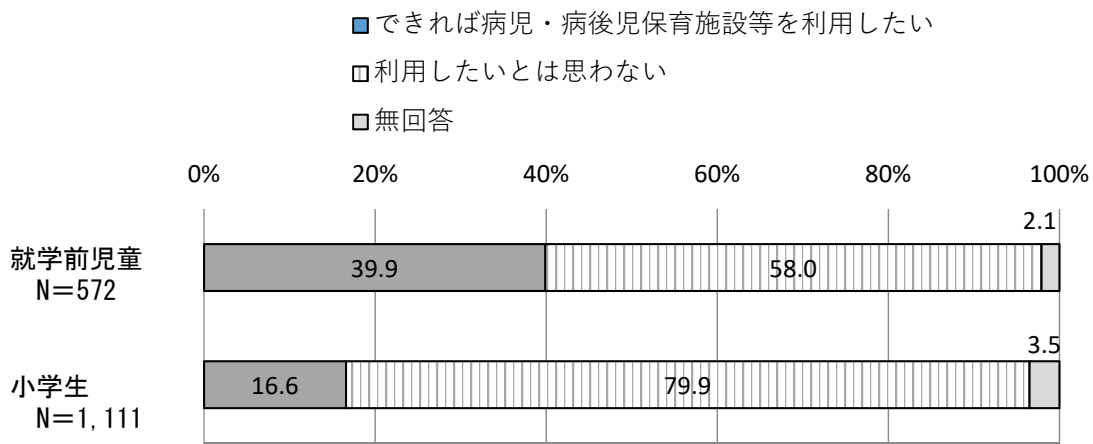
⑫ 病気等で教育・保育の事業が利用できなかった、あるいは学校を休まなければならなかった場合の対処方法（複数回答）

子どもの病気の際の対処方法については、就学前児童で「母親が休んだ」が71.1%、小学生で55.5%と最も高くなっています。就学前児童で「病児・病後児の保育を利用」は3.7%で5年前と比べ1.7%増加しています。



⑬ 病児等でも利用できる保育施設等の利用希望（単数回答）

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が就学前児童で39.9%（8.6%減）、小学生で16.6%（2.8%減）となっています。特に小学生では「利用したいとは思わない」が79.9%と「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を大きく上回っています。

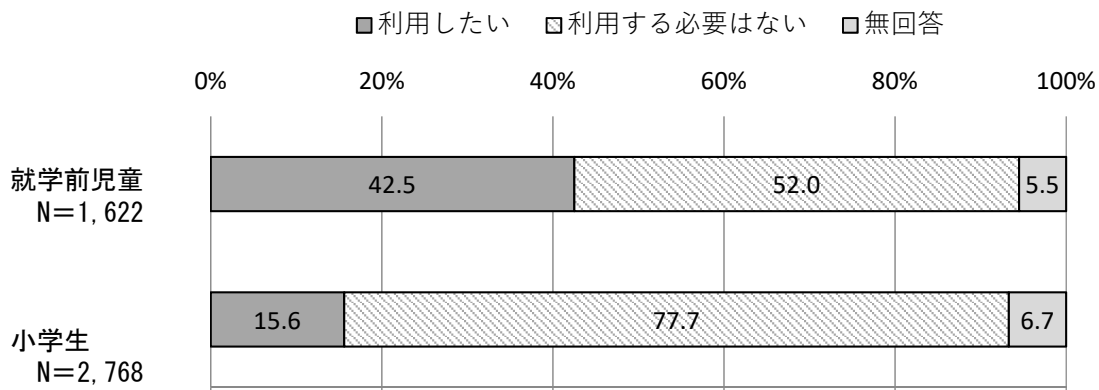


⑭ 私用、親の通院、不特定の就労目的で利用したい事業の有無（単数回答）

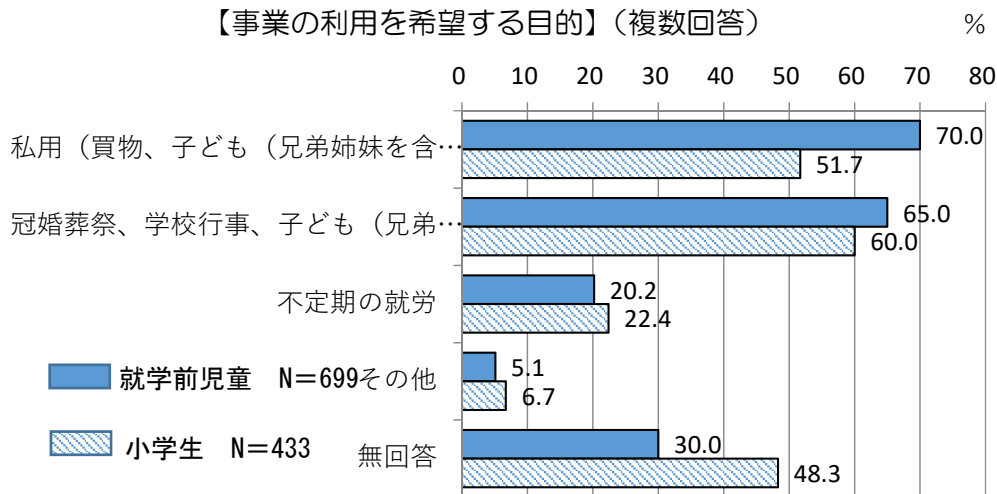
「利用したい」で就学前児童が42.5%、小学生が15.6%となっています。

特に小学生では「利用する必要はない」が77.7%と「利用したい」を大きく上回っています。

事業の利用を希望する目的については、就学前児童で「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が70.0%、小学生で「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が60.0%と最も高くなっています。

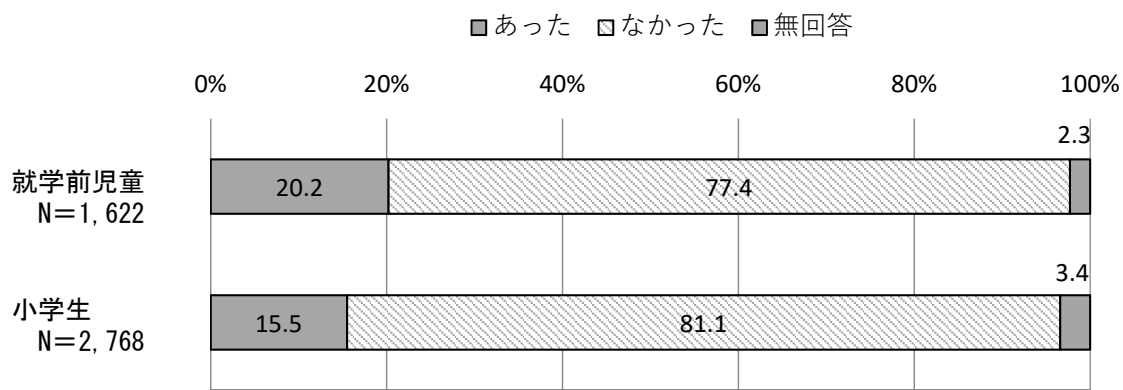


【事業の利用を希望する目的】（複数回答）



⑮ 泊りがけでみてもらわなければならなかった経験の有無（単数回答）

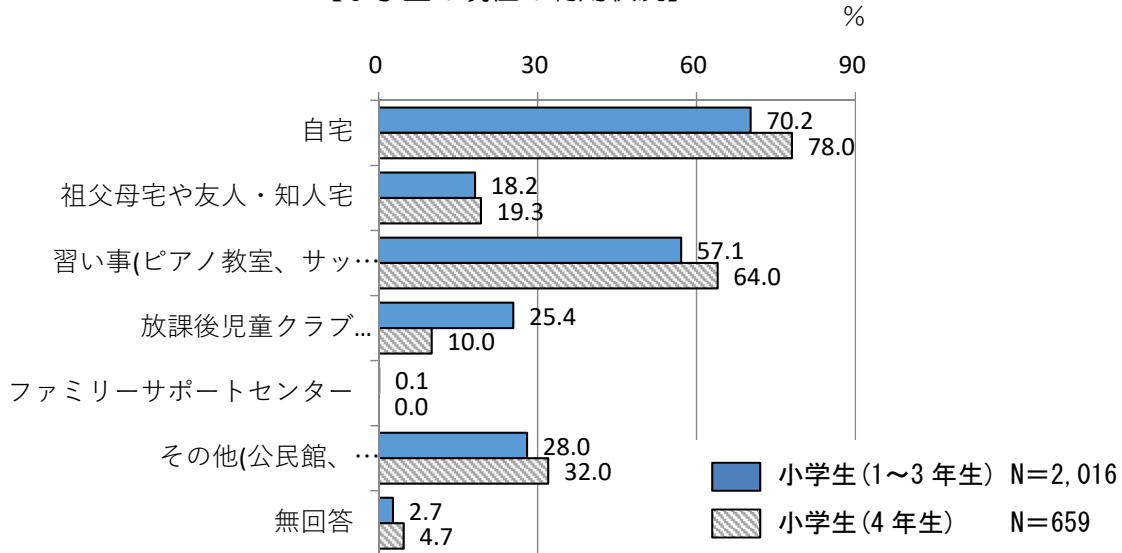
「あった」が就学前児童で20.2%、小学生で15.5%となっています。



⑯ 放課後の過ごし方（複数回答）

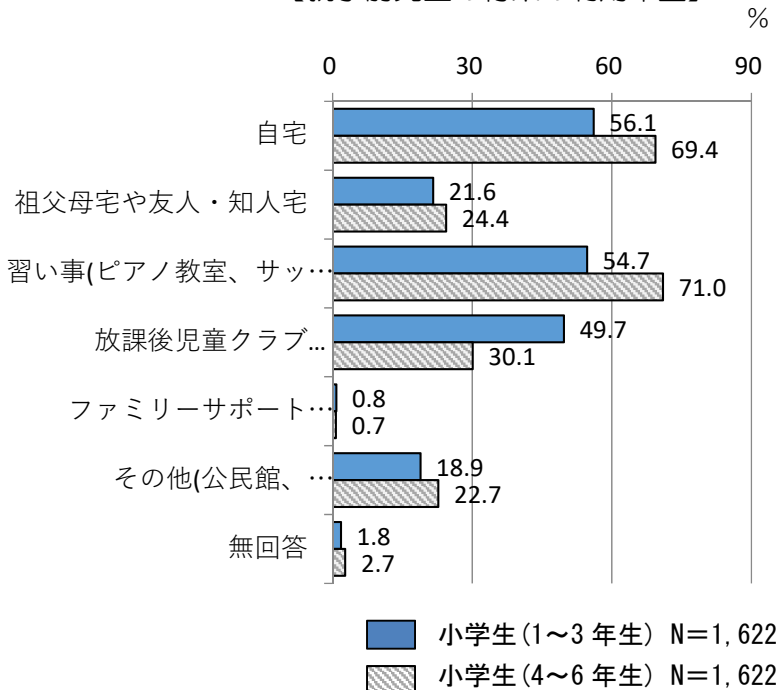
小学生が放課後に過ごしている場所については、小学生（1～3年生）、小学生（4年生）ともに「自宅」が約7割と最も高く、「習い事」が約6割と続き、放課後児童クラブは小学1～3年生で約25.4%、4年生で10.0%となっています。

【小学生の現在の利用状況】

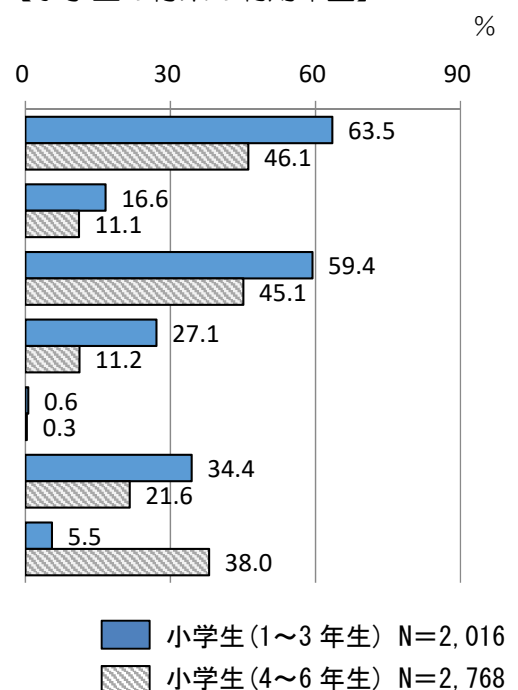


就学前児童が小学校入学後に放課後過ごさせたい場所については、低学年のうちは「自宅」が最も多くなっていますが、高学年になると「習い事」が最も多くなっています。「放課後児童クラブ」の利用希望は、低学年のうちは49.7%、高学年になると30.1%となっています。また、小学生に放課後過ごさせたい場所については、低学年、高学年ともに「自宅」、「習い事」の順になっています。「放課後児童クラブ」の利用希望は低学年で27.1%、高学年で11.2%となっています。

【就学前児童の将来の利用希望】



【小学生の将来の利用希望】



⑰ 放課後児童クラブに対する土曜日、日曜・祝日、長期休暇の利用希望（単数回答）

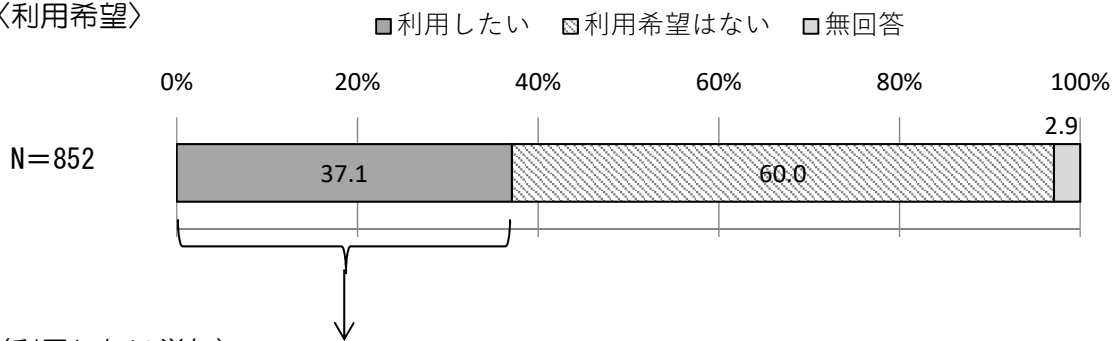
(ア) 土曜日

就学前児童では、小学校就学後に放課後児童クラブを利用したいと答えた人のうち、土曜日も「利用したい」の割合が37.1%となっており、そのうち「6年生ぐらいまで利用したい」の割合が28.2%となっています。

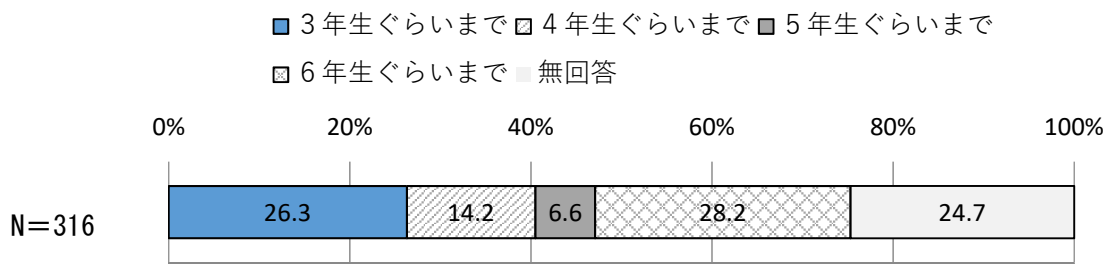
小学生では、現在放課後児童クラブを利用している又は今後利用したいと答えた人のうち、土曜日も「利用したい」の割合が34.1%となっており、そのうち「6年生ぐらいまで利用したい」の割合が31.3%となっています。

【就学前児童】

〈利用希望〉

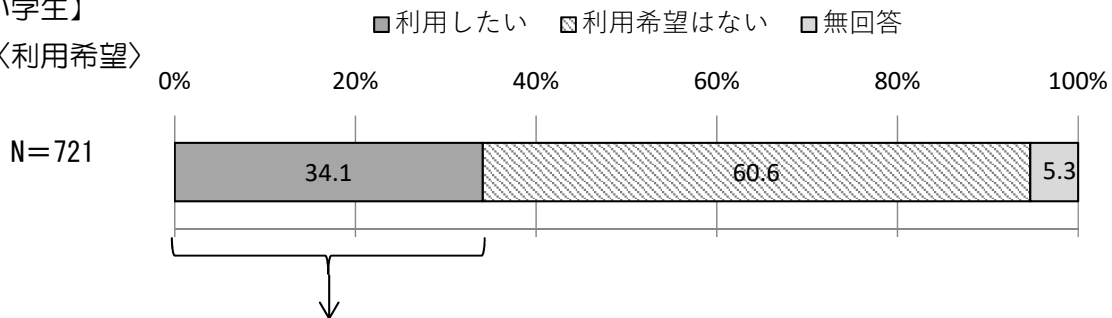


〈利用したい学年〉

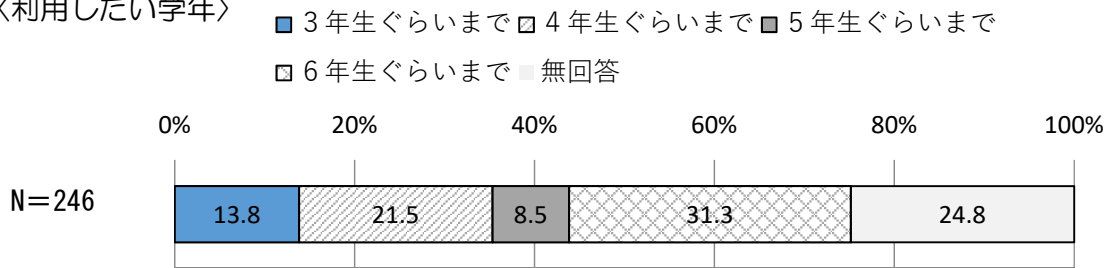


【小学生】

〈利用希望〉



〈利用したい学年〉



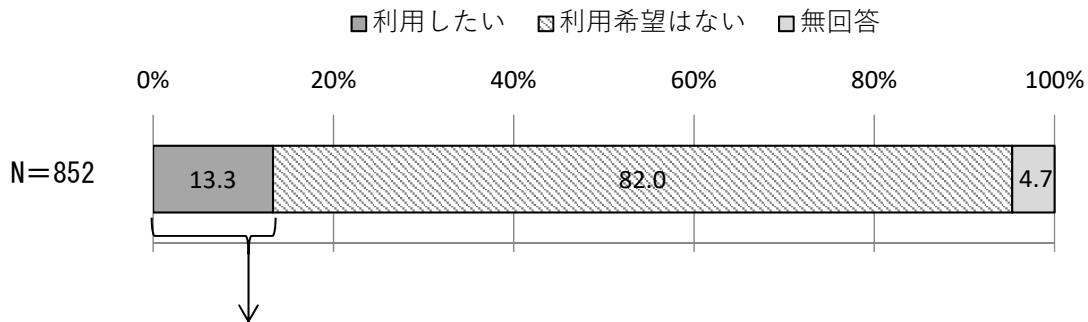
(イ) 日曜・祝日

就学前児童では、小学校就学後に放課後児童クラブを利用したいと答えた人のうち、日曜・祝日も「利用したい」の割合が13.3%となっており、そのうち「6年生ぐらいまで利用したい」の割合が34.5%となっています。

小学生では、現在放課後児童クラブを利用している又は今後利用したいと答えた人のうち、日曜・祝日も「利用したい」の割合が16.4%となっており、そのうち「6年生ぐらいまで利用したい」も割合が37.3%となっています。

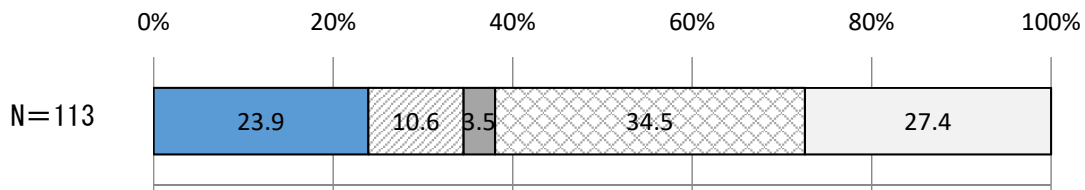
【就学前児童】

〈利用希望〉



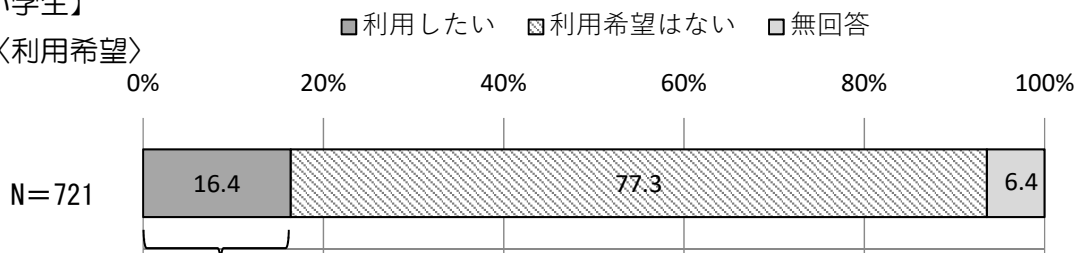
〈利用したい学年〉

■ 3年生ぐらいまで ▨ 4年生ぐらいまで ■ 5年生ぐらいまで
▨ 6年生ぐらいまで □ 無回答



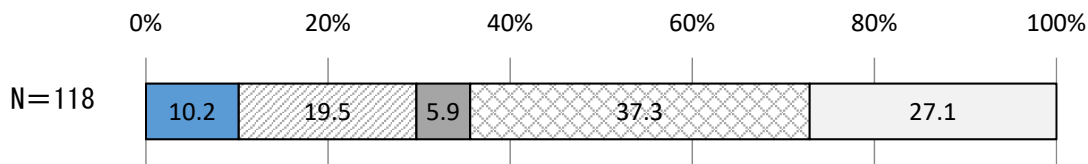
【小学生】

〈利用希望〉



〈利用したい学年〉

■ 3年生ぐらいまで ▨ 4年生ぐらいまで ■ 5年生ぐらいまで
▨ 6年生ぐらいまで □ 無回答



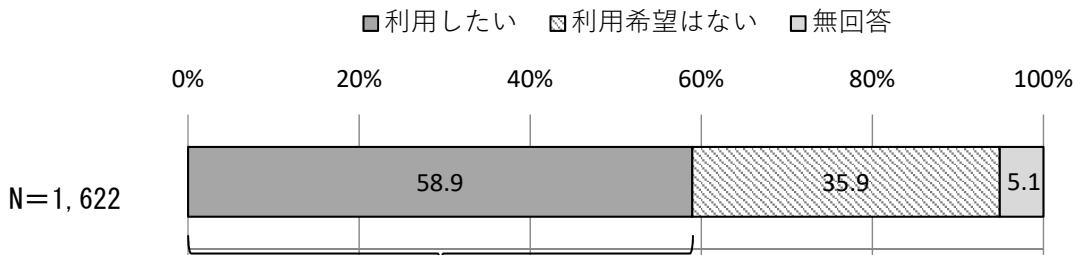
(ウ) 長期休暇

就学前児童では、長期休暇中に放課後児童クラブを「利用したい」の割合が 58.9%となっており、そのうち「6年生ぐらいまで利用したい」の割合が 28.8%となっています。

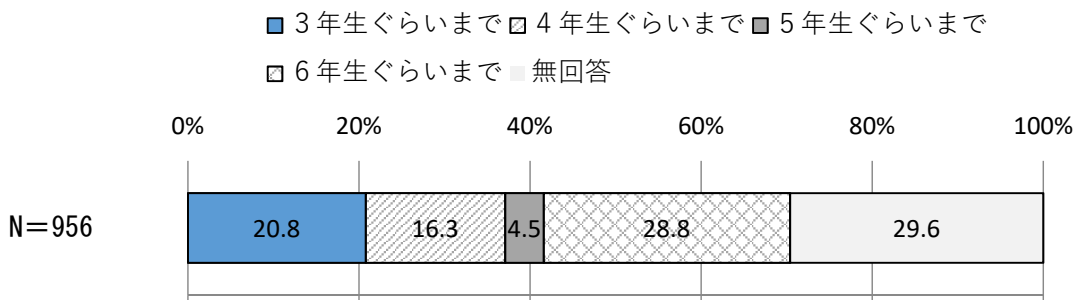
小学生では、長期休暇中に放課後児童クラブを「利用したい」の割合が 38.3%となっており、そのうち「6年生ぐらいまで利用したい」の割合が 35.4%となっています。

【就学前児童】

〈利用希望〉

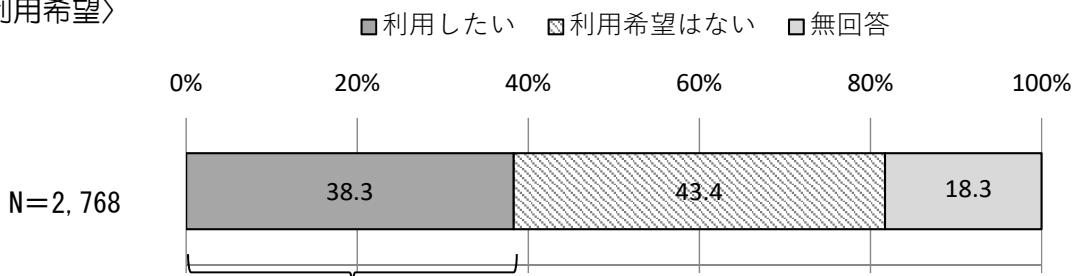


〈利用したい学年〉

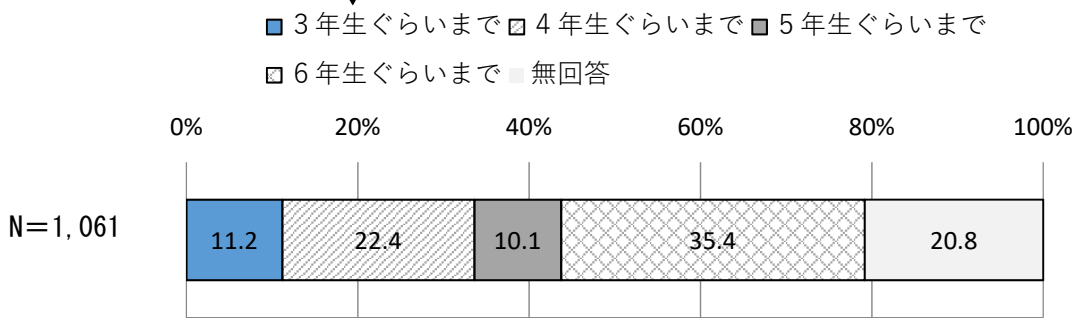


【小学生】

〈利用希望〉



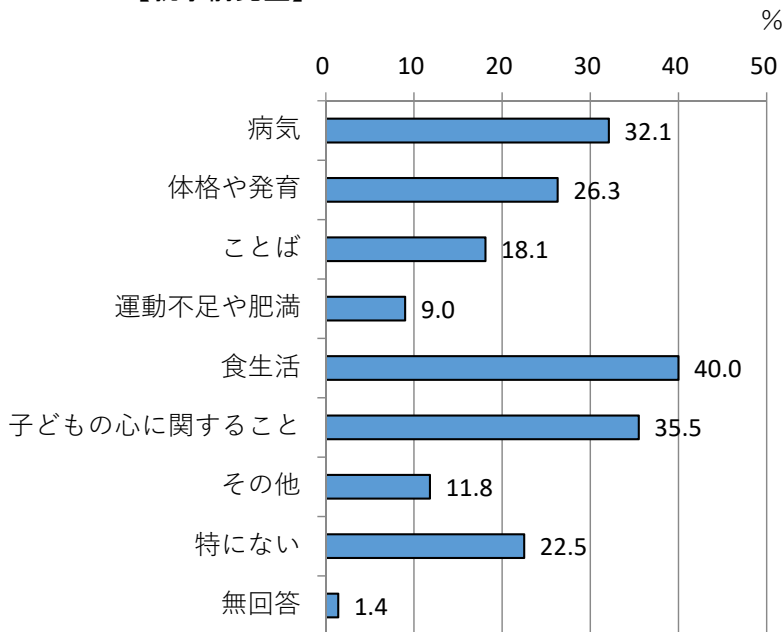
〈利用したい学年〉



⑱ 子育てについて、病気等で日常悩んでいることや気になること（複数回答）

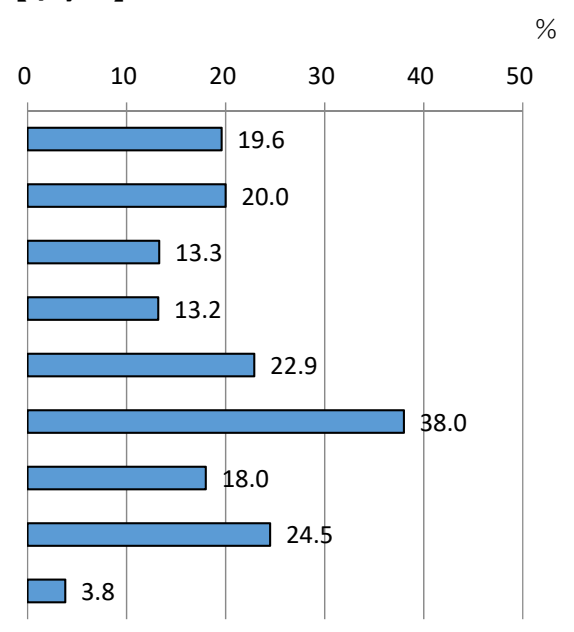
就学前児童、小学生ともに「子どもの心に関すること」、「食生活」が上位になっています。特に、就学前児童では「食生活」が40.0%と、小学生の22.9%よりも多くなっています。

【就学前児童】



就学前児童 N=1,622

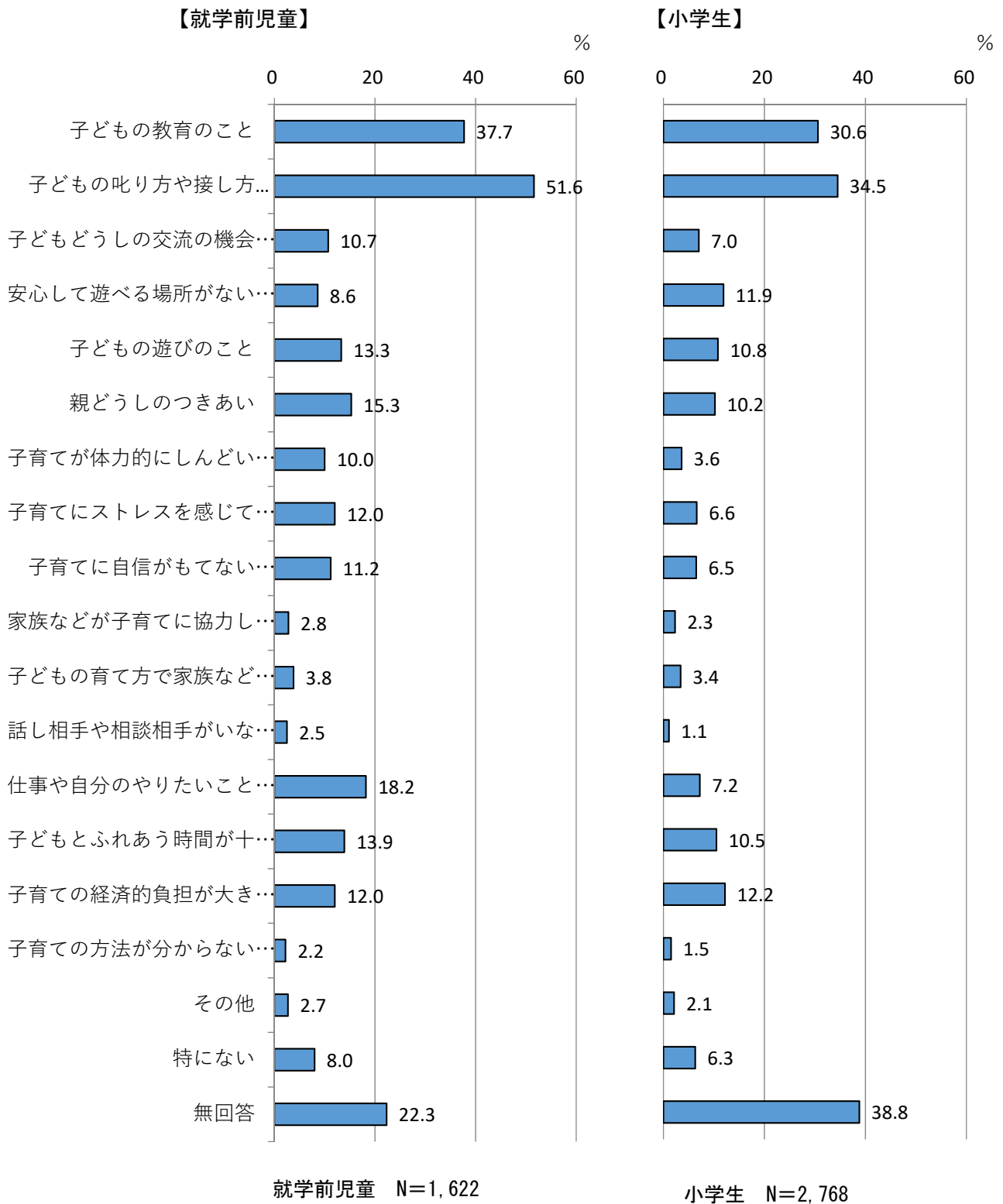
【小学生】



小学生 N=2,768

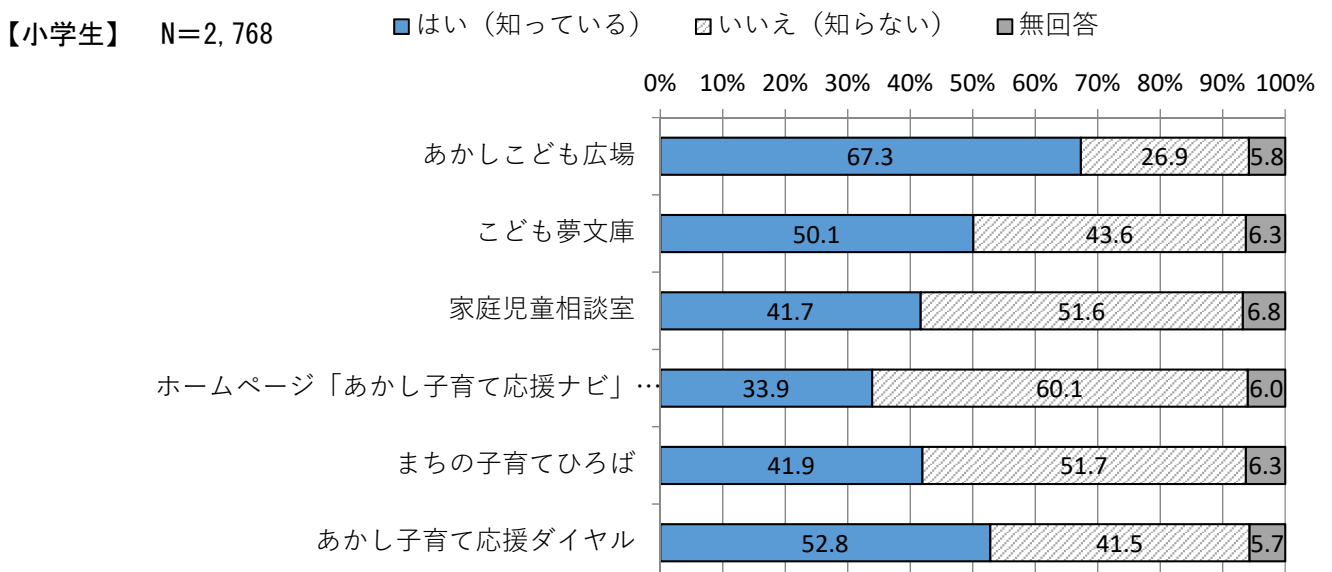
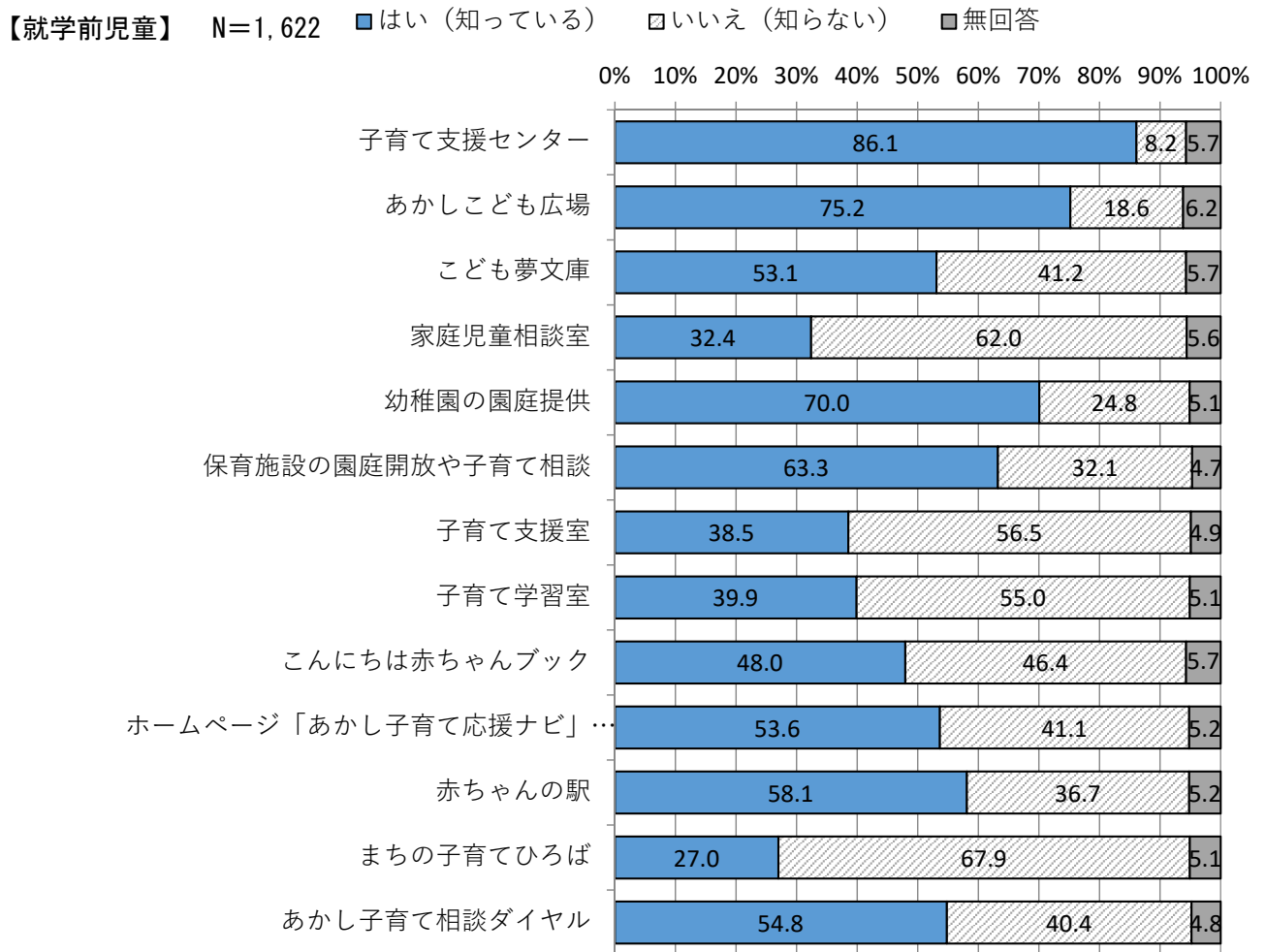
⑱ 子育てについて、病気等以外で日常悩んでいることや不安なこと（複数回答）

就学前児童、小学生ともに「子どもの叱り方や接し方（しつけも含む）」、「子どもの教育のこと」が上位になっています。



⑳ 子育て支援サービスの認知度（単数回答）

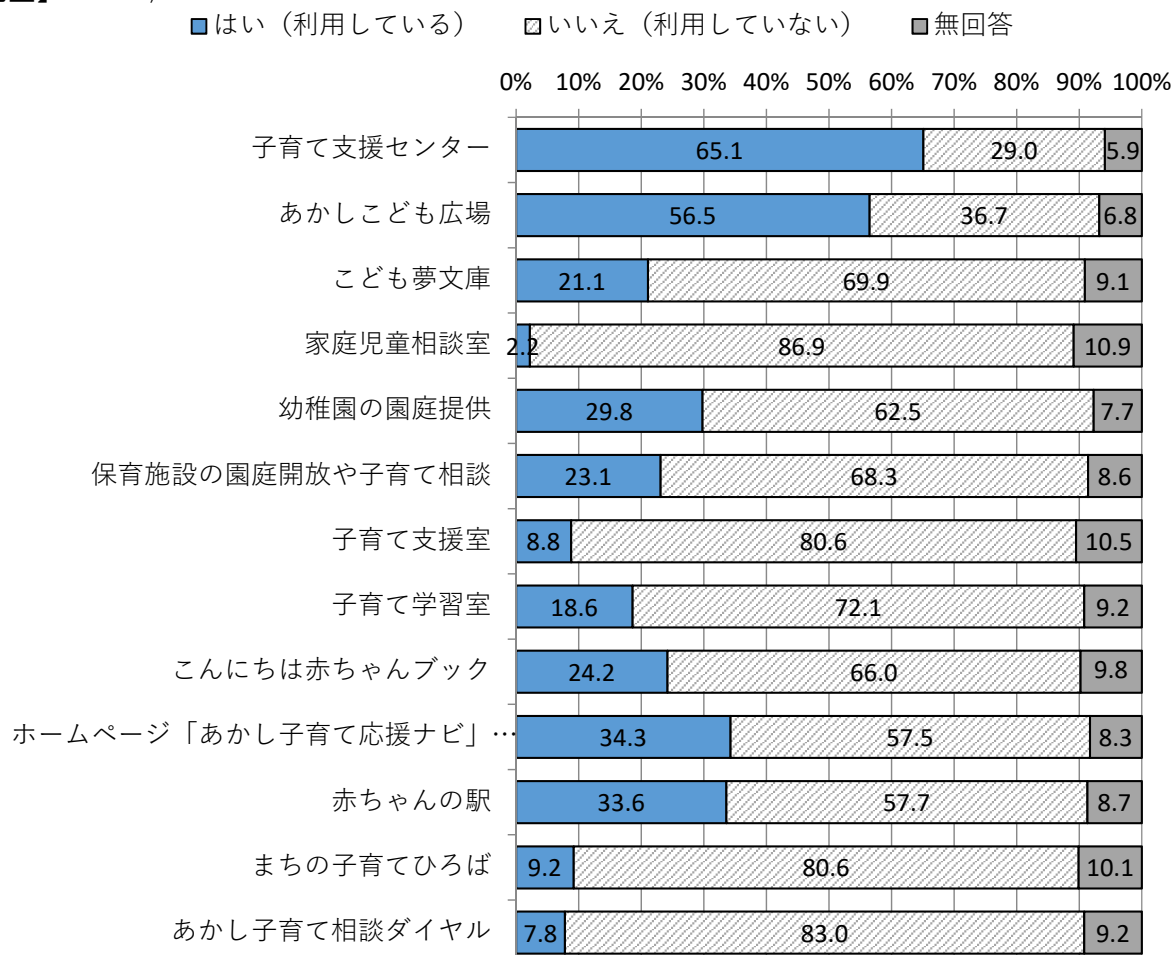
就学前児童で「子育て支援センター」「あかしこども広場」「幼稚園の園庭提供」を「知っている」が高く、70%以上となっています。小学生で「あかしこども広場」が高く、67.3%となっています。



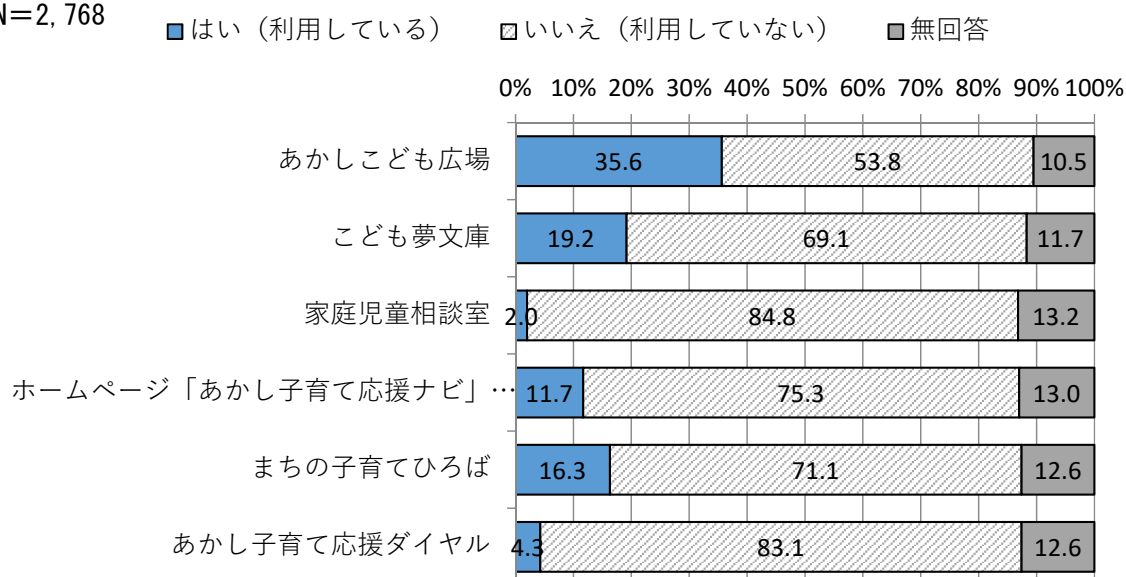
㊦ 子育て支援サービスの利用状況（単数回答）

就学前児童で「子育て支援センター」「あかしこども広場」の割合が高く、50%以上となっています。小学生で「あかしこども広場」の割合が高く、35.6%となっています。

【就学前児童】 N=1,622



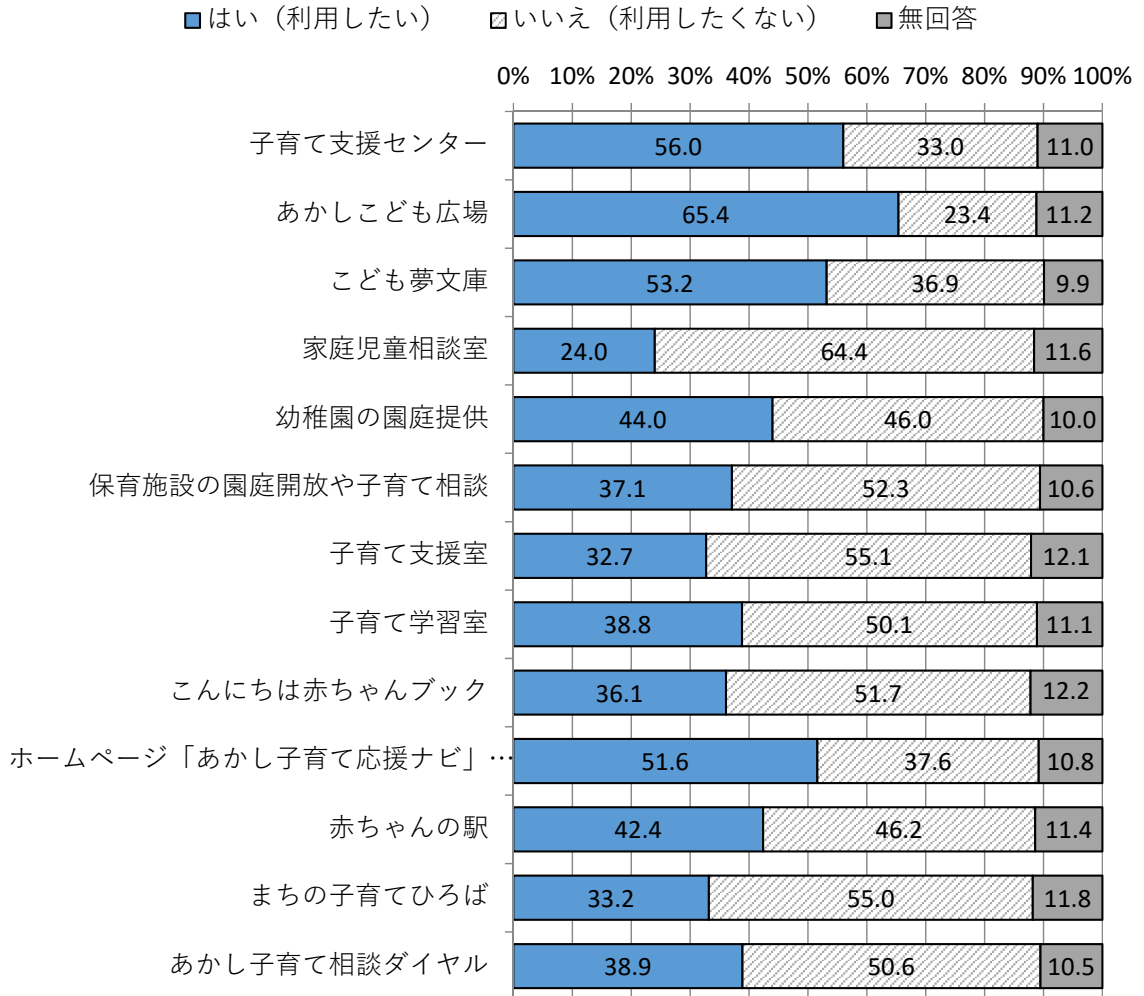
【小学生】 N=2,768



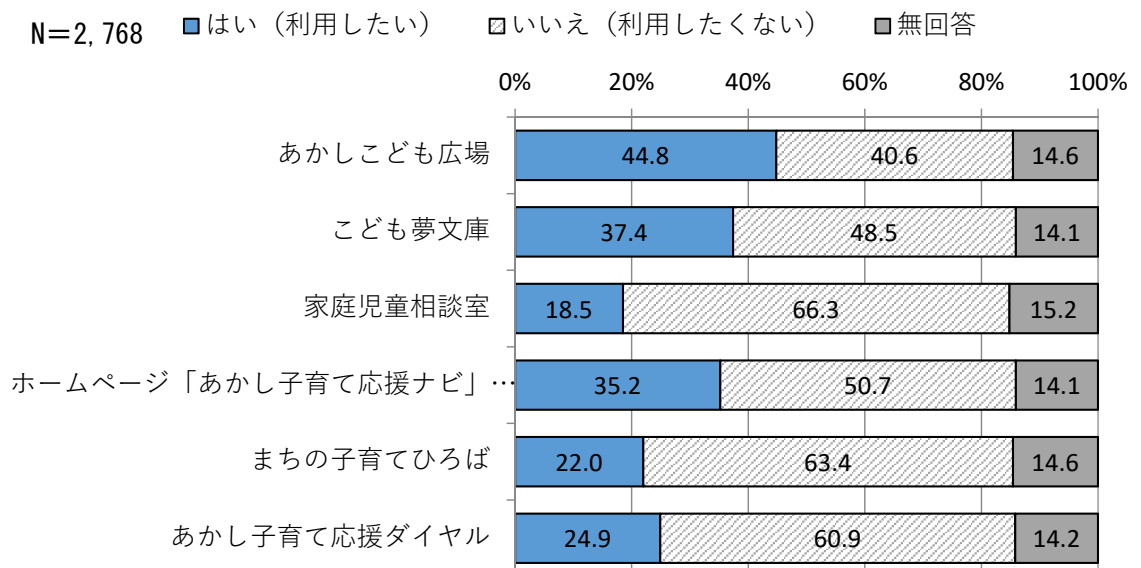
㊸ 子育て支援サービスの利用希望（単数回答）

就学前児童、小学生で「あかしこども広場」の利用希望が高くなっています。

【就学前児童】 N=1,622



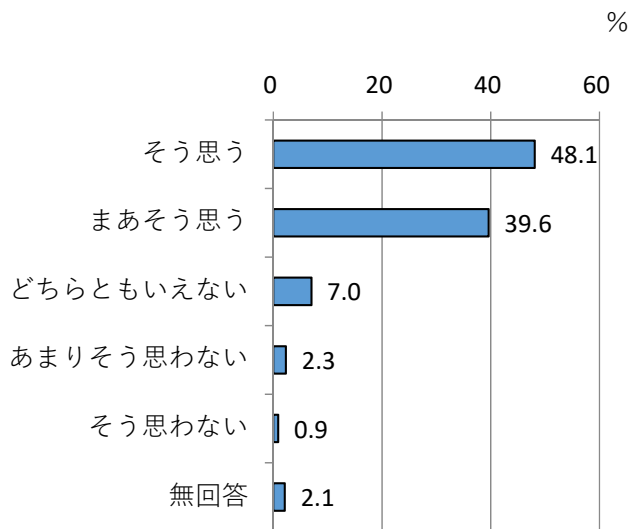
【小学生】 N=2,768



⑳ 子育てしやすいまちか（単数回答）

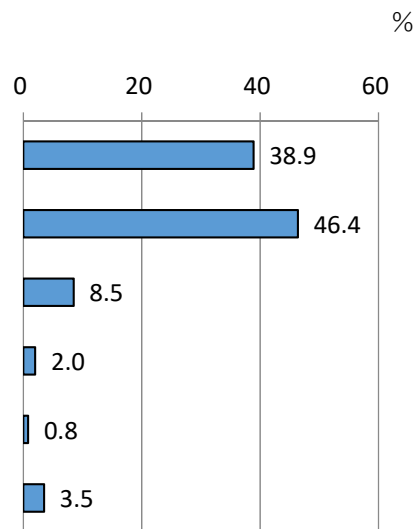
「そう思う」、「まあそう思う」をあわせた「子育てしやすいまちだと思う」が、就学前児童で87.7%、小学生では85.3%と、ともに9割近い割合となっており、5年前の約6割から3割程度増加しています。

【就学前児童】



就学前児童 N=1,622

【小学生】



小学生 N=2,768